

〈備えあれば憂え無し〉
と言いますが、
憂えは〈命の心配〉です！

コロナ肺炎で心配していますが、命の大事さが痛感できました。
コロナはインフルより確実な対策が必要になるでしょう。
では、本当に必要な「憂え」とは、何でしょうか？
それは、予防できない、最も困る「地震と噴火」や「突然死」でしょうね。
絶対に、必要な対策を取って置かないと・・・JYAN研のDangerNews

「備え」とは、何を、 どうすれば、良いですか？

- 簡単です。
- 「備え」とは、命が助かる方法を準備する事です。
- 命の危険とは具体的には何でしょうか？
- 命が無くなるのは、交通事故、火災、地震、噴火等々でしょう。
- 交通事故は、安全な交通手段を執り、火災は火事を起こさず、消火の準備をしておけばOKでしょう。
- 地震と噴火は準備が不可能です。でも、予知情報があれば、安全に避難する事ができます。従って<予知情報>がキーポイントです。

地震予知って、できます？

- 今の、日本地震学会は、「大変困難」と言っています。
- しかし、私は、電磁気さえうまく観測すれば、可能になる！と主張しています。
- ラジオが雑音で聞こえない。電波時計が止まる。テレビが勝手に点く。等々の地震前兆現象が60件も報告されています。
- そして、実際にラジオ放送やFM放送などを聞いてみると確かに前兆現象の異常やノイズを確認する事ができます。
- それで、電磁気の観測網を作って調べて見ました。ほぼ1週間前に確かに前兆現象があるのです。
- 電磁的な観測網を作れば、正しい予知情報が獲得できます。

地震予知情報って出てる？

- 今の民間の予知情報は残念ながら、高信頼ではありません。
 - しかし、ここ10年での地震は、殆ど明確な前兆がありました。
 - 熊本地震では、前震・本震が5日前に判りましたが、データ解析後には、回数、大きさ、時期等も詳細に亘って、完璧な予知ができるようになりました。
 - 日本全国に電磁的観測網ができると、ほぼ1週間前に、地震の「いつ」「どこ」「大きさ」等が予報できるようになります。
- ただし、観測網敷設と電磁波の解析や情報配信センターが必要なので、全国で実用化できるのは数年の設置期間が必要でしょう。

電磁観測と予見情報で備えを

- 日本地震学会や国の有識者会議は、地震予知は困難と言います。
- しかし、当JYAN研の観測や検証結果では、予知・予見まで可能です。ただし、現在は観測網内だけの実験結果なのですが・・・
- 気象庁は、地震予報を行わない規定があるそうですが・・・。（実は、地震警報も間違いが多く、直下型は間に合わない警報なのです。）
- 当技術で、全く新しい電磁気観測方式を使った観測網を作れば、地震予知の3原則をクリアーし、最終段階となる地震模様の予見までできる事を証明できます。今、検証実験を終了し公開の準備中です。
- 自分で観測するか？正しい危険情報を配信して貰うか？で、備えができます。DangerNews等のホームページをご覧ください！
- <http://ara.jyan.biz/> 他 JYAN研、國廣秀光、等で検索下さい。